

普及情報

“夢市場”におけるひょうご安心ブランドの取り組み

1 はじめに

夢前町宮置の県道沿いに、ウイング式トラックコンテナを設置し、火・木・土曜日の午後に開店している農産物の直売所が「夢市場」である。

この直売所は、地元の農業生産法人「夢前夢工房」が地域の退職者や女性に呼びかけ、2000年7月に直売組織「夢グループ」（会員8名）を結成したことに始まり、同年11月に直売を開始した。



写真1 直売組織「夢グループ」の会員

ここでは、「地元の野菜を地域の人が、ごく普通に求めることができ、地域の人と夢グループの会員が喜んで集える場としての直売所」を目指している。特徴は、栽培者があまり無理せず、朝収穫した野菜を昼から販売することにより、長続きできるよう工夫している。消費者の安全志向にいち早く対応し、「ひょうご安心ブランド」の認定を受け、積極的な直売活動を展開している。

2 活動経過と内容

(1) 農薬や化学合成肥料を使わない栽培の展開

直売所は、顔の見える販売ならびに、安全・安心面を重視した。生産方式は、耕種の防除法を積極的

に導入するとともに、化学合成肥料や農薬を使用しない栽培に取り組んだ。生産された農産物は栽培方法をPRしながら販売し、地域の消費者から高い評価を受けている。

(2) ひょうご安心ブランドの認定

普及センターは、兵庫県が推進する「ひょうご安心ブランド」の申請を勧め2003年4月（13品目）にはじめて認定を受け、その後8月（5品目）、2004年1月（16品目）と、どんどん拡大し、安全で安心な農産物を直売する夢市場が確立できた。

ひょうご安心ブランド認定を機会に、積極的にAコープ京口店他2店舗などの量販店への販路開拓を行い、地域で注目される直売所へと発展した。

(3) これから

量販店対応が始まって2年目を迎え、販売に生産が追いつかない状況になってきた。普及センターでは、今後とも、ひょうご安心ブランド認定制度を最大限活かすとともに、販売先ごとの責任者をグループ内で明確化し、出荷品目と数量を調整することにより販売が伸びるよう支援していきたい。

井澤 嘉隆（姫路農業改良普及センター）



写真2 Aコープ京口店での販売状況